



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第  
5号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第5号). 泌尿器科紀要 2000, 46(5): 370-370

ISSUE DATE:

2000-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114265>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

わが国の少子高齢化は外国に例を見ないほど急速に進んでおり，国連人口部の統計によると，65歳以上の人口1に対する生産年齢人口4.8（1995）の比率を50年間維持するには，毎年一千万人の移民を受け入れるか，定年を77歳まで延ばさなければならないという。アメリカでも65歳以上を高齢者と呼ぶが，65～75歳までを young old と呼んでいる。つまりまだ young なのだから，頑張れ，働けということであろう。

小生も young と名の付く間は頑張ろう，特に長年やってきた泌尿器科のためになることならばできるだけのことをボランティアとしてしよう，と思い本誌の編集などに力を入れてきた。しかし，「いつまでやっているのだ，いい加減にしろ」の声が出ない内に引き込むつもりでいる。Young old の人生もこれはこれでなかなかむづかしい。



今世紀最後の AUA が Atlanta であった。ほとんど毎年参加しているが，やはり素晴らしい。日本は目標をアメリカにおき努力してきたが，キャッチアップの段階は過ぎたと云われている。しかし，まだまだ学ぶことが多いと思う。

（吉田 修）

---

泌尿器科紀要 第46巻 第5号 2000年5月25日 印刷 2000年5月31日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---